



関台だより

令和2年10月30日発行
第10号(11月号)
発行者 校長 相原 雄三

教育目標 ○よく考えてやりぬこう ○なかよく助け合おう ○つよい心とからだをつくろう

「あいさつ」は自分を伝える大切な糧

副校長 沖山 宗弘

秋は、気候も爽やかでとても過ごしやすい季節です。そのため「○○の秋」と称して、多くのことに取り組んだり、恵みを受けたりします。

そこで立ち返りたいのが、私たちが秋を満喫できるのは多くの自然や人々の支えがあつたことだということです。日々感謝の気持ちを忘れてはなりません。その感謝の気持ちを容易に伝える手段として、「あいさつ」があります。

私自身、今まで教えてきた子供たちや娘に「あいさつは大事だからできなくては大げさだ。」と言い聞かせてきたが、そもそも「あいさつはなぜ大事なのか？」ということについて深く考えてみたことはありませんでした。

そこで、日本でのあいさつの起源について改めて調べてみました。あいさつは漢字で「挨拶」と書き、これは中世に日本に伝わった禅宗の教えに起因します。「挨拶」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「挨拶」には「迫る」「擦り寄る」という意味がそれぞれにあるようです。鎌倉時代の武家家訓にも、誰であれ目にした人に対しては必ず言葉を掛けるのが一般的な礼儀と記されており、少なくとも800年以上も昔から、あいさつは生活に根付いていたことが分かりました。

次にあいさつをすることの意義についてです。これは大きく2つあると考えます。一つは「自分自

身の心を開き、相手に自分の思いを分かってもらふこと」です。「おはようございます」や「さようなら」など、言葉にして伝えることで初めて自分を理解してもらえるということです。明るく元気な声であいさつできる人に対して、人は好感を抱かずにはいられません。もう一つは「生きていることへの感謝を伝え合うこと」です。「いただきます」と言うことで、自分の栄養のために犠牲になった命や、自分の元に届けてくださった方々への感謝の気持ちを表すことができるのです。

11月は「あいさつ月間」です。関台小では全児童が当番制で、昇降口や階段などに立ってあいさつ運動を行います。しかし、ただ立つだけでは意味がありません。これを機に、あいさつの意義やあいさつをすることでの効果についても、子供たち自身にしっかり考えさせていきます。

東京都生活文化局のWebページに、「あいさつは魔法の力」という歌が紹介されています。その最初の歌詞は「ちょっと勇気がいるけれど 思い切って声を出してみよう」で始まり、「このましかえよう」で終わります。一人一人があいさつを意識することで、心が開かれ誰もがわかり合え、感謝の気持ちであふれた町ができるという意味が込められています。

私自身、あいさつができる喜びをかみしめ、明るい気持ちで下校時に校門に立ちたいと思います。

11月行事予定(21日)

日	曜	行 事	SC来校日
1	日	こどもひろば	
2	月	全校朝会・学習教室⑥	
3	火	文化の日 こどもひろば	
4	水	4時間授業(校内研究会のため)	
5	木	児童集会	◇
6	金	クラブ活動③	◇
7	土	土曜授業⑤ こどもひろば(午後のみ)	
8	日	こどもひろば	
9	月	全校朝会・学習教室⑦	
10	火	安全指導	◆
11	水	4時間授業(区一斉研究会のため)	
12	木		◇
13	金		◇
14	土	こどもひろば	
15	日	こどもひろば	

16	月	全校朝会 社会科見学(5)	
17	火		◆
18	水		
19	木	学習発表会前日準備	◇
20	金	学習発表会	◇
21	土	学習発表会 土曜授業公開⑥	
22	日	こどもひろば	
23	月	勤労感謝の日 こどもひろば	
24	火		◆
25	水	個人面談①	
26	木	個人面談② GTEC Junior2(6)	◇
27	金	避難訓練 個人面談③	◇
28	土	こどもひろば	
29	日	こどもひろば	
30	月	全校朝会・読書旬間始 個人面談④	

※スクールカウンセラー(SC) ◆川島先生 ◇寺島先生

自分からすすんで元気に「挨拶」に取り組もう

生活指導部 武井 智哉
(第2学年担任)

関台小では、「あいさつ・返事・ルールを守る」を指導の重点としています。特に朝に気持ちのよい挨拶をすることで、明るく元気な一日を始めることができます。相手の目を見て挨拶をすること、自分からすすんで元気に挨拶することを目標に、学校全体で指導を行っています。

11月は、本校では「あいさつ月間」です。ご家庭でも、朝起きたときや、家に帰ったときなど、明るい挨拶をしていただければと思います。

◇ 11月の生活目標 ◇
「気持ちをこめてあいさつをしよう」

自然愛護の心を育む活動

第4学年担任 矢野 篤彦

本校では、緑を守り育てる心や自然に親しむ心を育むために、3年生で「草花ボランティア活動」、4年生で「江戸川公園花壇植栽活動」を行っています。

本年度は、新型コロナウイルスの感染防止のために、ソーシャルディスタンスを確保し、活動後の手洗い消毒を徹底しながら、草花と触れ合う活動を行いました。

3年生は、屋上のスペースを利用して、ポットに草花の種を蒔き、近隣の施設に配れるように育てています。4年生は、江戸川公園の花壇へ行って、伸びてしまった雑草を抜き取り、レイアウトを考えながら草花を植えました。

各学年ともに、周りの友達と協力しながら、種や草花を大切に植える姿が見られ、笑顔いっぱいの活動となりました。これからも自然や命を大切にする心を育てていきます。

学習発表会に向けて

学習発表会実行委員長 石川 智子
(図工専科)

今年もいよいよ学習発表会の季節になりました。各学年とも感染症対策に努め、発表の形態や方法を工夫しながら練習に励んでいます。また展示の部でも、自分の一番のお気に入りの作品を展示できるよう制作を進めています。

子供たちの一年間の成長が見られる機会ですので、ぜひご来校ください。

★11月21日(土) 学習発表会 保護者鑑賞日

◇全学年、4時間授業です。(下校時刻12時15分頃)

※ 全学年、給食なしです。

※ 詳細は、別途通知します。

読書旬間と本の寄贈について

図書主任 永澤 永子
(第2学年担任)

11月30日(月)より恒例の「読書旬間」を実施します。「読書旬間」では、今年度も図書委員によるイベントが行われます。4つのキーワードにかかわる本を読むと景品がもらえるキャンペーンです。コロナウイルスの影響で図書の時間がとれない状況で主に休み時間のみの活動ですが、本が大好きな子供たちだけではなく、日頃、あまり本を読まない子もこの期間は図書室に通い、たくさん本に触れてほしいと思います。

また、本校の卒業生の方からは、毎年、本の寄贈をいただいております。その方は、関台小の子供たちのためにと、40年間にわたってたくさん本を寄贈してくださっています。寄贈していただいた本は、今の子供たちが読みたくなるような本ばかりで、本棚に並べるとすぐに貸し出されていきます。ほかにも、PTAの方などからも本を寄贈していただいております。関台小の子供たちは幸せです。心より感謝申し上げます。

学校TOPICS

開校95周年リモート式典について

代表委員会担当 金井 俊賢(第3学年担任)

10月5日(月)に、関台小は開校95周年の記念日を迎えました。大正14年に開校以来、昭和・平成・令和の時を駆け抜け、先輩たちが築いてきた伝統を確かに継承してきました。式典では、代表委員会の5・6年生が中心になって進行了。校長先生の式辞、みんなでつくった「おめでとうメッセージ動画」の披露、さらには、昭和37年度に本校を卒業した同窓会長さんに出席していただき、昔の学校生活についてのインタビューも行いました。リモートでのささやかな式典でしたが、感染防止の観点から司会者席とインタビュー席には、アクリルボードのついたてを置き、密にならないように配慮しながら行いました。開校95周年を迎えたこの日のことは、関台小の歴史と子供たちの心にしっかりと刻み込まれたことと思います。

